



炬火祭

たいまつまつり

京都市登録無形民俗文化財登録第四十八号

炬火の由来

壬申の乱(六七二年)の時、

天武天皇(三栖神社御祭神)が

大津行幸にあたって、

三栖村を通過された時、

炬火をともして暗夜を

照らし給うたという

伝説に由来しています。

平成元年に三十三年ぶりに

復興しました。

▼ 昭和29年 炬火祭の様子



令和元年10月13日夜8時 点火

場所 / 三栖会館前(中書島駅前) ~ 京橋

主催 / 三栖神社奉賛会

協賛 / 三栖神社祭礼実行委員会・浜三栖若中・三栖炬火会・下三栖青年会